

福島大教育 ○田 口 秀

目的・消費者の健康履物に関する知熟度、期待度、購入希望率は高く、健康は足からの刺激によるとして、足の裏から刺激するとのキャッチフレーズで足の裏を刺激する健康履物の利用が増えている。そのうち、健康サンダル（スリッパ）は、弾力性に富んだ数多くの突起群が足の裏を刺激し、身体を健康に保つためのあらゆる効果をもたらすとしている。本研究では、これら健康履物の効果について検討をおこなった。

方法・健康履物としては、ソール内部にツボ刺激のための突起群があるソール面の異なった健康サンダル（スリッパ）6種類を選んだ。被験者は健康な女子6名である。検討の内容は、サンダル仕様の観察、土ふまずとソールの適合度（ツボとの関係）、被験者の好み、フットプリントによる圧接状態の観察、圧力強度で、加速度脈波計及びサーモグラフィーを用いて、身体への影響についても検討をおこなった。

結果・健康サンダル（スリッパ）の仕様は明確なきまりや品質表示もなく、その機能性を付したものは少ない。単に、足裏のツボを刺激するとして突起群がつくられているが、その高さも数もまちまちで、高さは1,5～10,5mm、幅は0,5～33mm、総数69～566個であった。全体としては土ふまずに重きをおいたものが多いが、土踏まずとの適合性は被験者によって異なる。ソール表面と足裏のツボは、「湧泉」をあげているが、今回の健康サンダル（スリッパ）では刺激しているとは言いがたい。土ふまずの刺激については個人差があり被験者の好みは中等程度の刺激が好まれているが、。加速度脈波及びサーモグラフィーの動向から、健康履物による身体への効果はわずかであった。 本研究の一部は、文部省科学研究費の補助によった。